【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

教育公務員として法令を遵守し，「チーム長迫」としての意識をもち，職務に専念します。
・優しく（子どもに）　・真摯に（教職員相互に）
・誠実に（保護者・地域に）
・厳しく（自分自身に）

令和５年度　不祥事根絶のための行動計画

呉市立長迫小学校
作成責任者　校長　髙尾　千草

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○計画的に服務研修を実施しているが，「自らも過ちを犯しうる存在」という当事者意識及び危機管理意識を高める必要がある。	○服務研修の方法や内容等を改善し，より体験的な研修を実施して，自分事として捉えることができるようにする。	○一人一研修を担当する。 ○不祥事防止委員会で服務研修の内容を検討し，主体的に研修する内容になっているか確認する。 ○不祥事防止委員会で，不祥事につながる事象や予兆はないか確認し，改善策を協議する。 ○決意表明カードを名札に入れ携行する。 ○管理職面談等でヒアリングを行う。	○服務研修に係るアンケートを学期ごとに実施し，不祥事防止委員会で検証を行う。
	○整理整頓（机上・データ・資料室等）の徹底ができていない。	○校務支援システムやタブレット等の活用により，ペーパーレス化を進める。	○長期休業中に，教具室や特別教室等の整理整頓を職員全員で行う。	○月１回の施設点検の項目に「整理整頓」を加える。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○校舎配置の関係で，１フロアー１学級という教室配置となる学級があり，他学年の様子がわかりにくい。	○「報告・連絡・相談・確認」を迅速かつ確実に行い，組織（チーム）としての対応を行う，	○孤立感しないようチーム（低・中・高のグループ，校務分掌の部）体制を整える。	○毎月，委員会メンバーが校内点検を行い，校内衛生委員会で課題解決の方策を立てる。
	○小規模校のため，一人当たりの業務量が多い。	○教育活動や行事の精選・スリム化を図る。	○タブレットの効果的活用により，情報共有を効率的に行う。	○年２回，アンケートにより進捗状況を確認する。
相談体制の充実	○「相談窓口」は周知されているが，積極的に参加しようとしていない。。	○児童や保護者が相談しやすい体制を作る。	○アンケートや面談等を通して，児童の気になる様子を教職員で情報共有する。 ○保護者との連携を丁寧に行う。 ○学校通信やＨＰで保護者等に周知し，参加を呼びかけるとともに，校舎内全ての教室にポスターを掲示し，担当の教職員を明示する。	○児童と担任，保護者と担任，教職員と管理職との面談を年２回以上行う。 ○児童，保護者にアンケート調査を年２回以上実施する。